

# News Release

NO18R044

平成 18 年 5 月 24 日

## POLA ART EXHIBITION PART 4

### EIPSYCHIDION

#### 綾木いづみ・「日本画」という前衛

ポーラ化粧品では、2006年6月26日(月)から7月16日(日)まで、ポーラ ミュージアム アネックス (銀座)において、POLA ART EXHIBITION PART 4 『EIPSYCHIDION—綾木いづみ・「日本画」という前衛—』を開催します。

会期中、6月28日(水)、7月8日(土)には、綾木いづみのギャラリートークも開催します。

EIPSYCHIDION (エピサイキディオン) という不思議な響きの言葉は、ギリシャ語で「魂の分身」という意味で、本来1つの人間が2つに断ち切られたため、それぞれが自分の片割れを捜しもとめるようになったという愛の哲学です。

本展でご紹介する綾木いづみの描く日本画は、日本画とは想像もつかないような大胆な構図の中で、日本画の伝統的な素材である岩絵の具の美しさを再現しています。幾重にも重ねられた色は単調に塗られた平面的なものではなく、奥行きのある複雑で深い色合いを出しています。日本画特有の繊細な色づかひや技法を生かしながらも、自由な発想で描かれた綾木いづみの日本画は、観る人に生命のエネルギーを感じさせます。絵画約30点、日本画の素材や岩絵の具の色見本、道具なども展示します。



EIPSYCHIDION

#### 【リリースに関するお問い合わせ】

広報部 TEL 03-3494-7123 / FAX 03-3494-7640

#### 【お客さまお問い合わせ】

ポーラ ミュージアム アネックス TEL 03-3563-5501 / FAX 03-5250-4670

日本人は、周囲を海に囲まれ自然が織り成す四季の変化や移ろいの中で、長い歴史と共に独自の文化を育み花鳥風月、人物描写、神仏、風景などを稀有な手法で表現する「日本画」という分野を確立しました。西洋画と大きく異なる点の一つは独創的な遠近表現と、その場面の気配に観る人までも包み込んでしまう不思議な空間描写です。時代と共に表現方法も柔軟に変化を遂げ、今日の現代美術界ではボーダレスな作品が数多く誕生しています。今回ご紹介する綾木いづみの魅力は、伝統的な素材を生かした真摯な試みと自由な発想でありながら決して奇を衒わない表現力です。絵の具を幾重にも重ねた濁りのない深い色合いと確かな造形は綾木の精神性と深く関わり、鑑賞者を綾木いづみの世界へと導きます。テーマは「EPIPSYCHIDION（魂の分身）」。

本企画展を通して、皆様に日本画の新たな息吹を感じ取っていただければ幸いに存じます。

ポーラ ミュージアム アネックス

## 【開催概要】

■展覧会名：『EPIPSYCHIDION—綾木いづみ・「日本画」という前衛—』

■会期：2006年6月26日（月）～7月16日（日） ※会期中無休

■開館時間：午前10:00～午後20:00時まで（最終日は17:00まで）

■会場：ポーラ ミュージアム アネックス（銀座）

〒104-0061 東京都中央区銀座1-7-7

TEL.03-3563-5501/FAX.03-3250-4670

<http://www.pola-ma.jp>

■作品点数：約30点

■入場料：無料

■ギャラリートーク：参加無料

◇日時：6月28日（水）18:30～19:30

7月8日（土）14:00～15:00

◇会場：ポーラ ミュージアム アネックス 2Fギャラリー

◇定員：30名 ※要予約（定員になり次第締め切らせていただきます）

◇参加費：無料

◇お申込：電話にて受付 TEL 03-3563-5501

■主催：POLA

■後援：鳥取県、朝日新聞鳥取総局、新日本海新聞社、（財）渡辺美術館、松江北堀美術館、川端画廊、山陰日本アイルランド協会

■企画協力：atelier COCOON

■協力：（有）スペースプランニング

綾木いづみ (あやき いづみ)



鳥取県境港市生まれ

1976 東京東郷アカデミーにて油絵を学ぶ

1978 東京 FG 絵画研究所に在籍

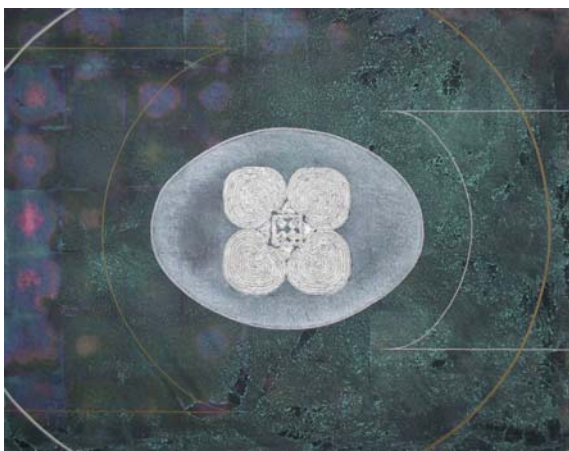
1985 武蔵野美術学園日本画科入学

1989 同 日本画研究科修了

アトリエコクーン主宰、鳥取在住

日本画は前衛芸術であるというと意外に思われるかもしれませんが。日本画とは淡い色彩で季節を織り込み、やや平面的なものであると言われる事もあります。しかしたとえば琳派の宗達は大胆な画面構成で驚かせ、光琳は具象と抽象の融合、抱一は銀箔で闇を表現するなど、その奔放な創造性による作品群は今でも新鮮な感動を与えてくれます。近年は手間や時間を大幅に短縮できる新画材の開発などにより、日本画の製作現場も大きく変わってきています。しかし長い時代の淘汰に耐えてきた画材や技法が日本画を支えてきたことを考えると、そうした美の伝統をゆるがせにすることは出来ません。

日本画という自分の分身と出会えた私は、岩絵具の美しさに導かれながら、継承と創造を進めてゆきたいと願うのです。



COCOON-THECORE-



RUBY SHOWER



OSMUNDA



PULSE



制作風景



制作風景



フランス コルシカ島 招待個展風景



フランス コルシカ島 招待個展風景

### <展示・出品>

- 東京 個展 3回 ・ 鳥取 個展 7回
- 2002 モナコ公国 招待個展
- 2002 スペイン サラマンカ国際アートエキスポ出品
- 2003 スペイン バレンシア国際アートエキスポ出品
- 2003 東京銀座 ポーラミュージアムアネックス個展
- 2004 イタリア シチリア島 シラクーザ市 Montevirgin 展示
- 2005 スイス ジュネーブ国際アートフェア出品
- 2005 フランス コルシカ島 アジャクシオ市図書館展示

### <受賞・入選>

- 1986 武蔵野市美術展 市長賞
- 1988 ニューージーランド オークランド美術展 入選
- 1988 上野の森美術館 「日本の自然を描く展」 入選
- 1989 フィンランド エスポー市美術展 銀賞
- 2002 新成会展 金賞
- 2002 雪舟国際美術展 無鑑査出品
- 2003 新成会展 特選
- 2004 新成会展 東京美術倶楽部賞受賞

### <師事>

土屋禮一（日展評議員）、石井了（院展）